

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.5 億円
		通常砂防事業 みなみくちやま 南口山川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来郡 朝来町 ^{しわなみ} 老波			16年度	16年度	18年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産及び地区避難所である老波公民館を保全する。	・砂防堰堤工 1基 (H = 11.0m , L = 52.0m)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> ・南口山川は土石流危険渓流である。 ・溪流の浸食が進み流域内も荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・溪流勾配は約1 / 7と急で、溪岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 5戸、公共施設 = 老波公民館(地区避難所)、町道(迂回路なし) 田畑 = 0.56ha
地域の活性化	・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域、山村振興指定地域及び過疎対策法対策町に該当し、砂防堰堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家5戸)及び地区避難所である老波公民館、迂回路のない町道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・地元からの要望が強く、町等の協力体制が整っていることから、円滑な事業執行が可能である
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家5戸及び地区避難所である老波公民館、迂回路のない町道がある。 ・流域状況は急峻な地形と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、老波地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。